

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運動する時は、スペースを確保できるように気を付ける。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で決められた配置数である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		支援室は過度な情報にならないように掲示物などもなくしている。段差がないことは良いが、ドアが少し狭い。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼の申し送りで情報共有をし、お互い指摘しあったりして実践できている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集団イベント後に毎回アンケートを取り、活用している。今回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、今後の業務改善に繋げる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社の研修体制が整っているが、遠いため、なかなか行けない。しかし、ネット研修や、先生に来てもらい、研修を受けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。
適切 な支 援の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		いくつかのアセスメントツールはあるが、標準化してうまく使用できていないため、今後考えていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員のアドバイスを得て支援プログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもによって、固定化したほうが良いお子さんもいるため、子どもの反応と状況に応じて意欲的に取り組むことが出来るように工夫している。。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇時は利用回数の増減・時間変更等にて支援を行っている。しかし、平日・休日関係なく 45分療育、15分振り返りの1時間の支援なので、大きく課題を変えることはない。こどもの状況に応じて配慮する場合はある。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別活動中心であるが、集団活動を適宜組み合わせ工夫している。しかし放課後等デイサービス計画には入れていない。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		時間のある限り、毎日打ち合わせをしているが、内容を細かくまでは確認していない。しかし、支援後に内容確認や今後について話をして共有出来ている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		時間がある限り、次の日に支援後の振り返りを全指導員で行い共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		毎週記録のチェックを行い記録漏れがないようにしている。毎日職員全員で振り返りを行い検証・改善に努めている。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		3か月に1回モニタリングを行い（1月からは、6か月に1回に変更）計画を見直している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		こどものニーズに合わせて複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議がなく、参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎を行っていないため、情報共有をまだできていないが、中学校や支援学校を訪問し、連携を取つつある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		何か所かの医療機関は訪問し、連携を取ることができる体制にはなっているが、該当者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等を訪問はしているが、情報共有までには至っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在通所している子どもは、中学3年生までなので、今後移行する状況になった時に提供することが出来る体制にはなっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		訪問し連携する努力を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。しかし、個別の学習のため、難しい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		毎月の定例会に出席している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		毎回の振り返りを通して事業所での様子を共有し、これからの方針を共に考えていっている。	

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		相談を受け、個々の対応はしているが、家族支援プログラムにまでは、至っていない。今後考えていかなければいけない。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や、毎月の領収書・請求書発行時に行っている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		振り返りの時間、子どもさんを待っているじかんを利用し、出来る限り保護者とコミュニケーションを取るようにしている。わかる範囲で助言と支援を行っている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		ママカフェ等を行っている。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に苦情についての対応の体制を説明している。また、いつでも保護者が話しやすいような対応を心掛け、お会いした時声をかけるように努めている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に会報の発行はしていないが、カレンダーは毎月、ブログは月3～4回発信している。また、連絡事項がある都度掲示して伝達している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的情報を利用し情報伝達している
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		個別中心なので、行にくい。外部向けイベントは実施している。
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時に説明し、事業所にも掲示している。
非常時等の対応	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月行いポスター等でお知らせしている。しかし、指導員だけの訓練ばかりのため、保護者への周知徹底がなされていない。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		対応についての話し合いは行われているが、研修機会がまだ確保できていない指導員もいる。。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、該当児はいないが、重要事項説明書にも掲載し、契約時に説明を行っている。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食事提供は行っていない。

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの事例について自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。ヒヤリとした時は、全員で共有し、対応策を考えると共に報告書を上げている。
----	----------------------------	---	--	---

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校  
 保護者等数（児童数）15（16）回収数 15 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	同時刻に指導員の数の受入なので時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。しかし、運動をするときは、もう少しスペースを確保できたらうれしいですとの意見があったため、出来る限りのスペースを確保できるように気を付けていきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	7	0	現在バリアフリーが必要なお子さんがいらっやらないため、「バリアフリーを意識したことがなかった。」というご意見がいくつかあった。段差がないようには配慮しているが、手すりまで設けていない。今後必要なら、考えていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	14	0	1	保護者のご意見をしっかり御聞きしているつもりだが、納得していただくまで話を聞くように努力していく。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	14	0	1	「子供が飽きてきた感じになると、新しいことに変えていってくれている。」というありがたい意見があった。しかし、子どもさんによって、固定化したほうが良いお子さんもいるため、保護者にもっとわかっていただくような話をしていかなければいけない。

	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	5	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	1	「毎回丁寧に説明してくれています。」というありがたい意見があったが、お会いできる時間が少ない保護者さんにも話ができる機会を持つ努力をしていきたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	1	「雑談から、真剣な話まで色々聞いてくれます。」というありがたい意見があったが、すべての方から、そのように思ってもらえるように工夫していきたい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	0	4月から、3回ほどママカフェを行ったり、子どものイベント時に保護者同士が話し合えるような場を持つようには心がけているが、全員参加をめざし、企画に工夫を凝らせていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	3	0	子ども同士のトラブルの解決にあたり、「早い段階で対応してくれたので、問題解決しました。」とのありがたい意見がありました。今後も様々なことに気を配りながら苦情が出ないよう気を付けるとともに、苦情があった場合、迅速かつ適切に対応できるよう気を配っていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	7	0	「定期的に行事を催してくれています。」という移管を書いてくださっていました。 まだ開設して1年たっていないため、自己評価結果は発信していない。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	1	契約時に紙面を見ながら説明をさせていただいているが、あまり記憶に残っていないようなので、工夫していかなければいけない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2	2	毎月1回必ず訓練を行い、ポスター等で告知し、ブログにも行ったことを載せているが、あまり気づいていない方もいるようなので、工夫していかなければいけない。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	「大変楽しみにしています。」 「とても楽しみにしています。」の意見ばかりでとてもありがたい。これがずっと続くように職員全員努力していく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	1	0	今後、全員に満足いただけるように職員一丸となって努力していく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。